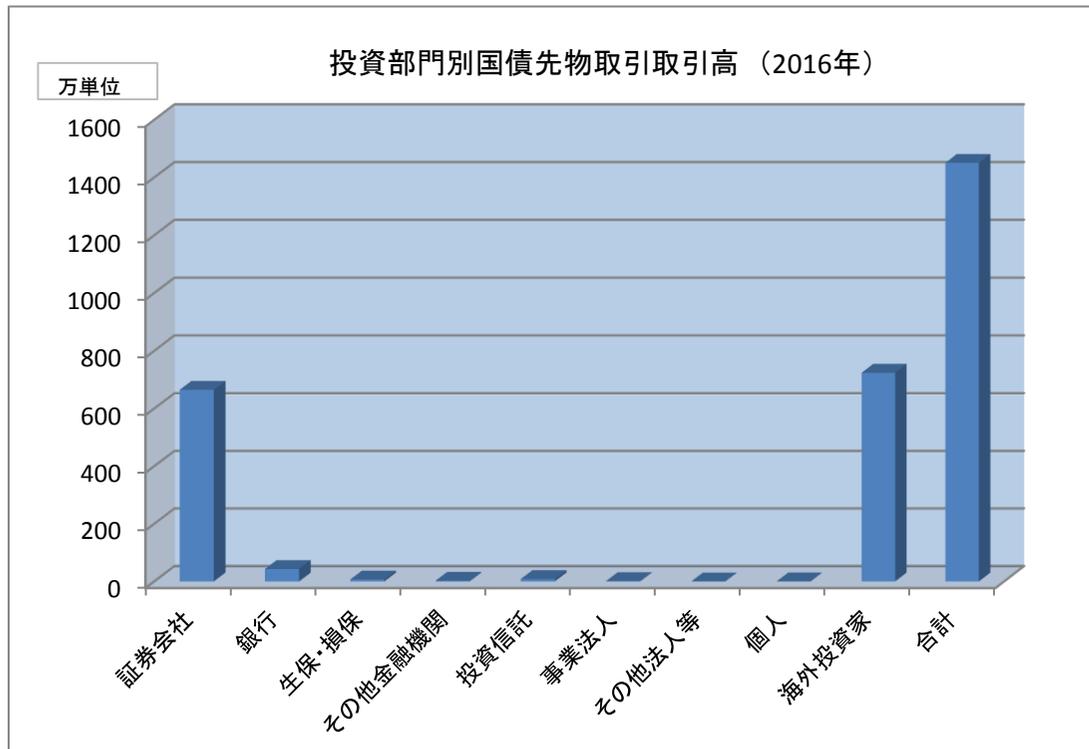


## 投資部門別国債先物取引取引高



2016年の投資部門別国債先物取引取引高をみると、海外投資家が724万単位で全体の49.9%、次いで、証券会社が665万単位で同45.9%、銀行が43万単位で同3.0%となっている。

出所：日本取引所グループ

統計情報(先物・オプション関連)の投資部門別取引状況の「投資部門別取引状況」より作成

	取引高 (万単位)	構成比
証券会社	665.3	45.9%
銀行	43.2	3.0%
生保・損保	6.6	0.5%
その他金融機関	2.2	0.2%
投資信託	8.2	0.6%
事業法人	1.0	0.1%
その他法人等	0.0	0.0%
個人	0.1	0.0%
海外投資家	724.4	49.9%
合計	1,450.9	100.0%

(注) 集計対象は取引参加者の自己売買並びに資本金の額が30億円以上の証券会社及び  
国債先物等取引参加者のうち主要金融機関(地銀を除く)の委託取引の売付・買付の合計。